

さとう 和美

笑顔と安心を
未来につなぐ宮古

毎日を頑張る、働く世代のそばに



宮古市議会議員

討 議
資 料

さとう和美後援会

ごあいさつ



いつも温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。
令和6年10月の宮古市議会議員補欠選挙において、皆さまのお力添えにより議会へ送り出していただきました。

就任以来、私が何より大切にしてきたのは、現場に足を運び、市民の皆さまの声に寄り添うことです。

その一つひとつの積み重ねが、「市民の参画」を形づくる大切な過程

だと考えています。

約1年という短い期間ではありますが、地域活動や消防団、振興会、環境整備など、さまざまな現場に足を運ばせていただき、いただいた声を受け止め、市政に反映するために取り組んでまいりました。

自然災害の頻発や激甚化、人口減少や少子高齢化、物価高騰など、宮古市を取り巻く状況は厳しさを増しています。

そうした中で、不登校児童生徒への支援、子どもの居場所づくり、産後も働ける環境整備、消防団の持続可能な体制づくり、物価高騰を踏まえた子育て世帯支援や防災体制の強化などを提案してきました。



私はこれからも、生まれ育った大好きな宮古市が、誰もが安心して笑顔で暮らせるまちであり続けるよう、現場に足を運び、市民の皆さまの声に寄り添いながら、暮らしの安心につながる市政を、皆さまと共に前に進めてまいります。

これからも、どうぞ率直なお声をお聞かせください。

皆さまの暮らしに寄り添い、一步ずつ誠実に取り組んでまいります。

宮古市議会議員 さとう 和美

【後援会のご案内】

さとう和美後援会では、地域の声を大切に、暮らしに寄り添う活動を続けるさとう和美を応援してくださる方を募集しています。

後援会では、活動を支えるため年会費をお願いしていますが、ご都合に合わせた関わり方で構いません。まずは話を聞いてみたい、というお気持ちからでも歓迎です。

詳しくは、お電話・メール・ホームページのほか、FAXで「ご住所・お名前・お電話番号」をご記入のうえ、お送りいただくか、ご持参いただくだけで、大丈夫です。

※書式は自由です。

皆さまと共に、宮古の未来を考えていければ幸いです。

※ご記入いただいた内容は、後援会のご連絡以外には使用いたしません。

さとう和美 後援会 FAX ご連絡欄

ご住所：

お名前：

お電話番号：

※話を聞くだけでも構いません

声に寄り添い、暮らしに応える市政へ。

市民の皆さまから寄せられる声を出発点に、議会の場で課題を取り上げ、制度や施策の改善につなげてきました。

議会の外でも地域の現場に足を運び、直接お話を伺うことを大切にしています。

01 子ども・子育て・教育



■ 2024 年 12 月 定例会議（一般質問）

過去最多となった不登校児童生徒の状況を取り上げました。

また、子どもたちの安心できる居場所として、児童館の機能強化を提案しました。



■ 2025 年 3 月 定例会議（一般質問）

産後もキャリアを継続できる働き方の推進と企業への支援策を提案しました。

あわせて、中学校部活動の地域移行に関する課題と方向性について質疑しました。



■ 2025 年 6 月 定例会議（一般質問）

物価高騰や米不足が子育て世帯に与える影響を踏まえた支援策と食の安定確保を提案しました。

また、学校給食の提供状況を確認し、安全な道路環境整備の必要性について質疑しました。



02 働く世代への支援



■ 2025 年 3 月 予算特別委員会（当初予算審査）

働き盛り世代が安心して働ける環境づくりの一環として、带状疱疹予防接種助成の対象年齢拡大を提案し、発症率が急増する 50 歳以上へ拡大する制度改善が実現しました。



■ 2025 年 9 月 定例会議（一般質問）

「2025 年問題」を見据えた成年後見制度の活用・推進について提言しました。

制度の利用を必要とする方が、尊厳を持ち、本人らしい生活を継続できるように支える体制の整備を求めました。



■ 2025 年 9 月 決算特別委員会

介護用品給付事業は、要介護 3 以上の高齢者を在宅で介護する家族に対し、紙おむつ等の購入費用の一部を助成し、経済的負担を軽減する重要な取り組みですが、近年の物価高騰で介護用品も高騰。10 年見直されておらず、時代の変化に応じた柔軟な運用を求めました。その結果、引き上げが決定される予定となりました。



■ 2026 年 1 月 物価高騰対策について

一般旅客自動車運送業者運行支援事業において対象業者の拡大を実現。



03

安全・防災・暮らしの安心

■ 2025 年 9 月 定例会議（一般質問）



防災行政無線は重要な役割を担っていますが、周囲の環境により聞き取りにくい場合がありますとの声があります。

特に保育施設は、まだ歩けない子どもも通っていることもあり、情報が遅れることで避難行動に支障をきたす恐れがあります。子どもたちの命を守るために迅速な情報伝達ができるよう、民間保育施設等への防災ラジオ配布の拡充を求め、設置が実現しました。



達成

■ 2025 年 9 月 定例会議（一般質問）



2025 年 7 月 30 日の津波警報発令時の避難経験を踏まえ、避難所への暑さ指数計設置を求め、設置が実現しました。



達成

■ 2025 年 12 月 定例会議（一般質問）

消防団の持続可能な体制づくりについて、女性団員の活躍促進や人材確保、運転者育成など幅広く提案し、いずれについても前向きな答弁をいただきました。

なかでも、将来の運転者不足を見据えた免許取得支援については、準中型免許取得支援が制度化され、令和 9 年度から施行されることとなりました。



達成

04

環境整備・暮らしの安心



■ 地域防災・安全対策

地域の災害訓練に参加し、防災体制の確認や住民の防災意識向上に取り組みました。駅前安全性向上に向け、地域の方からの相談を受けて点字ブロック設置を実現しました。



達成

■ 環境整備・地域美化

不法投棄や害虫発生を防ぐため、南大橋下周辺の草刈りおよび安全のため、フェンス交換など環境整備を行って頂きました。

近内地区の公園および西ヶ丘さくらの小道の街灯を LED に交換し、夜間の安全性と省エネルギー化を推進しました。

■ 教育・地域行事への参加

市内小中学校の入学式や学校行事に出席し、子どもたちの成長を地域で支える活動に参加しました。地元のお祭りや地域行事に参加し、防災訓練にも参加し・南町自治会相談役など、地域コミュニティの活性化に努めました。

■ 消防・防災関連活動

消防団活動に参加し、地域防災力の維持・向上に取り組みました。

これからも大切にしてい、5つの柱

次世代に持続可能な宮古市を築くづくために、全力を尽くします。

■ 働く世代と暮らしの安心

働く世代が安心して仕事と生活を両立できることは、地域の活力を支える大切な基盤です。

子育てや介護、健康への不安など、働く世代を取り巻く課題は一つではありません。働き方や健康、生活の質の向上につながる取り組みを通じて、日々の暮らしに寄り添った支援を大切にしていきます。

■ 防災・安全・健康

災害への備えや、日常の安全、健康で暮らし続けられる環境づくりは欠かせません。防災訓練や地域の安全対策など、現場で見えてきた課題を踏まえながら、安心して暮らせる体制づくりを進めていきます。

あわせて、健康づくりや予防の視点も大切に、「まちも人も健康寿命を延ばす」を合言葉に、暮らしの中で無理なく続けられる取り組みを自らも実行し、支え、医療費の負担を削減する取り組みを推進します。

■ 子ども・子育て・教育

子どもたちが安心して学び、育つことができる環境づくりは、宮古市の未来を支える土台です。

不登校への支援や、子どもの居場所づくり、学びの場の確保など、一人ひとりに寄り添った支援が求められています。

子どもと家庭が孤立することのないよう、地域と行政が連携した取り組みを支えています。

■ 地域経済の活性化・中心市街地の活性化

中心市街地の課題やニーズを共有し、地域に愛着を持ち、市民の声を反映させたまちづくりを推進します。

地域産業や観光資源を活かした地域振興を推進し、雇用の創出や地域経済の活性化を推進します。

■ 男女共同参画、女性活躍の推進

男女共同参画や女性活躍の推進は、単に女性を支援することではありません。

誰もが力を発揮できる環境づくりにつながる大切な取り組みだと考えています。

多様な視点を活かし、地域や組織の力を高めていくために、性別に関係なく、一人ひとりが活躍できる宮古市を目指し、女性である私自身が行動し、発信を続けていきます。

【みやこ生まれ、みやこ育ち。宮古が大好きなヨガ講師です。】

宮古市内の医療機関でナースとして長年臨床経験を積み、2014 年に末広町商店街でヨガスタジオを開業しました。

おかげさまで 12 年、末広町商店街の一員として、地域の皆さまに支えていただきながら、子どもから高齢者まで、それぞれのライフステージに寄り添った心と体の健康づくりに取り組んでいます。

これまで約 20 年にわたり、宮古市の子育て支援事業や産前・産後ケア、高齢者向け生涯学習事業などに携わってきました。

また、岩手県立大学宮古短期大学部では 7 年間、非常勤講師として学びの場に関わってきました。企業研修では、女性のキャリアアップ支援や建設業の安全大会などの講師を務め、働く現場に寄り添った活動を行っています。

毎年、国際ヨガデーに合わせて、観光資源の保護と健康意識の向上を目的とした「浄土ヶ浜の清掃活動とトレッキングビーチヨガ」を主宰しています。

この取り組みは 10 年目を迎え、宮古市の魅力を伝える活動の一つとして続けてきました。

2024 年にはミセスコンテストに挑戦し、アンコンシャス・バイアスをテーマとしたスピーチで日本一となり、世界大会へ進出。タレントショー（ヨガ）では世界第 3 位に入賞しました。

これらの経験を通じて、男女が互いを尊重し合い、誰もが力を発揮できる社会づくりの大切さを伝える活動を続けています

【これまでの活動】

- ・宮古市の産前や産後事業、子育て支援、生涯学習事業、高齢者向け講座、健康事業の講師
- ・宮古市総合計画審議会委員
- ・岩手日報社 論説第三者評価委員
- ・Mrs of the Year 岩手大会（2023・2024）統括プロデューサー
- ・岩手県立大学宮古短期大学部非常勤講師
- ・男女共同参画サポーター
- ・南町自治会相談役

【誕生日】昭和 46 年 4 月生まれ（54 歳）

【職 業】ヨガスタジオオーナー
（2014 年カズミスタジオ開設）

【趣 味】パワースポット巡り

【経 歴】小百合幼稚園・宮古市立山口小学校
宮古市立第一中学校
岩手県立宮古北高等学校
宮古医師会立准看護学院
熊坂政治塾第一期生
いわて政治塾

【所属等】

- ・宮古市議会議員（総務常任委員会）
- ・末広町振興組合
- ・宮古商工会議所
- ・宮古市倫理法人会
- ・宮古市消防団（第八分団）団員
- ・宮古地区保護司会
- ・岩手県看護連盟

さとう和美後援会

☎ 027-0084 岩手県宮古市末広町 8-1 2F

☎ 0193-77-5633 FAX 0193-77-5633

🌐 <https://kazumi.jpn.org/> ✉ sato@kazumi.jpn.org

